

BAIAS
センサチェック用LiDARアプリ
操作手順書

株式会社GRIFFY

令和6年7月18日

はじめに

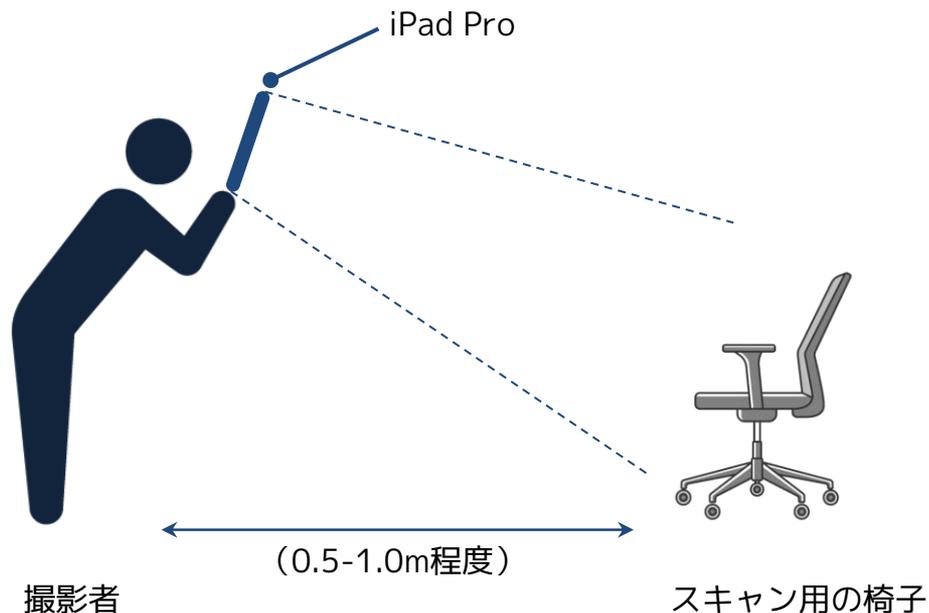
- 本書は、LiDARセンサが正常かどうかをLiDARアプリ（Scaniverse）でチェックする作業を実施するための手順書です。

操作手順 目次

1. 事前準備
2. モード選択
3. スキャン開始
 1. スキャン中
 2. スキャン終了
 3. スキャンのやり直し
4. 表示結果の確認
 1. センサに異常がある場合の対応
5. 撮影データの削除

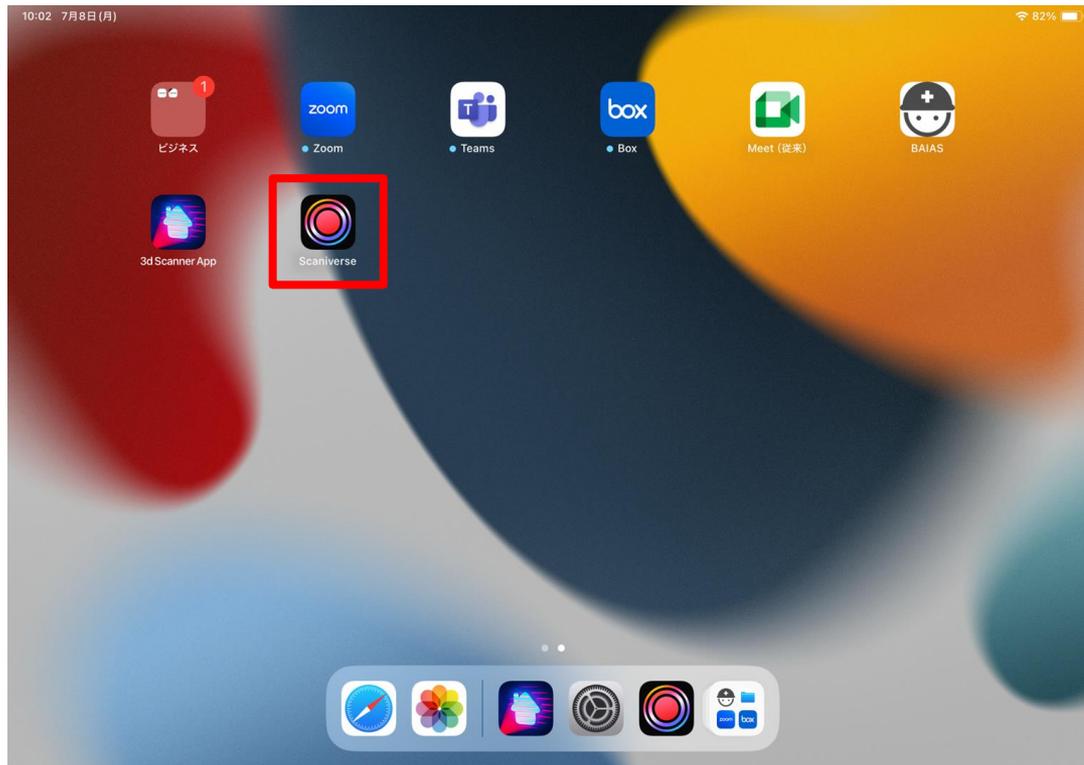
1.事前準備

本手順では、スキャンのために椅子を使用します。
下図のような撮影が可能な環境を用意してください。
椅子の周囲にはなるべく物を置かないでください。



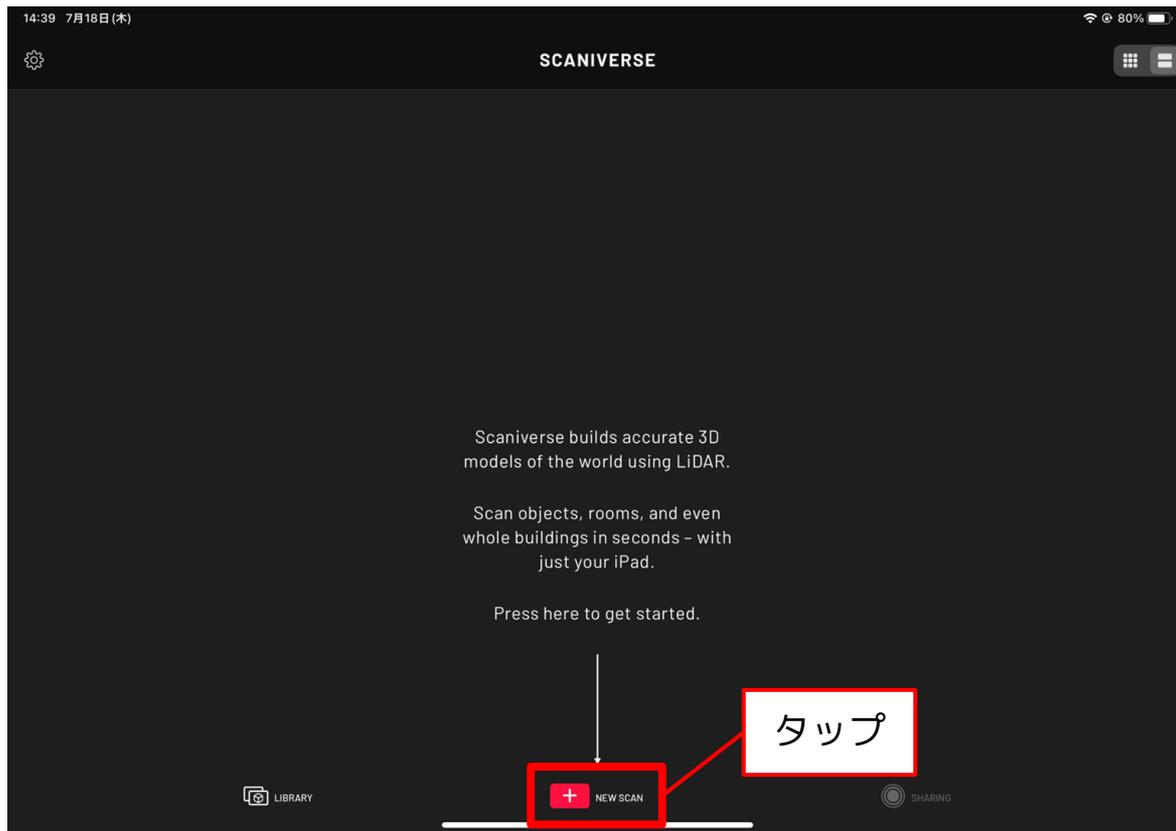
1.事前準備

また、センサチェック用LiDARアプリには「Scaniverse」というアプリを使用します。
ホーム画面でScaniverseがインストールされていることを確認してください。



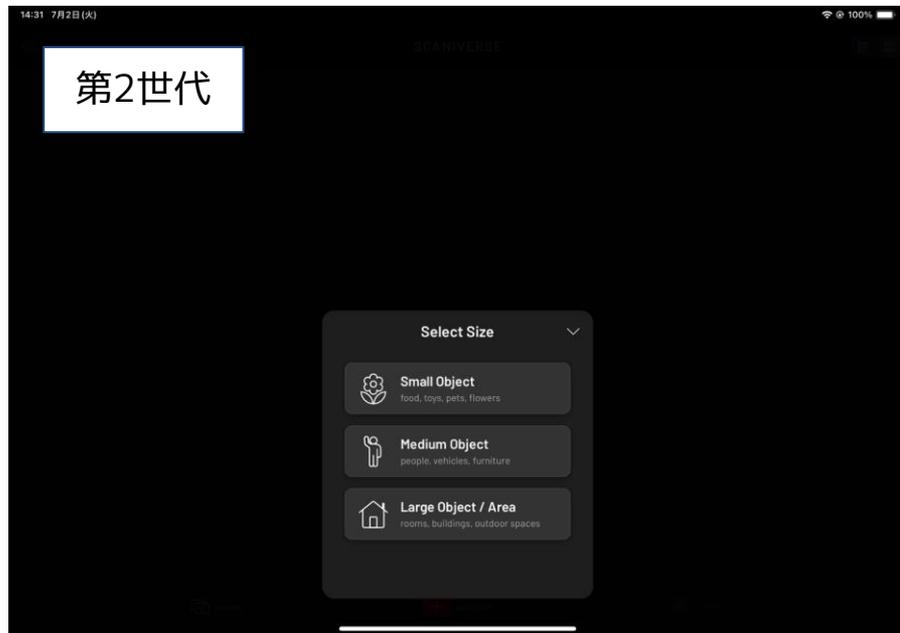
2.モード選択

Scaniverseを起動し、画面下部の「+」をタップします。



2.モード選択

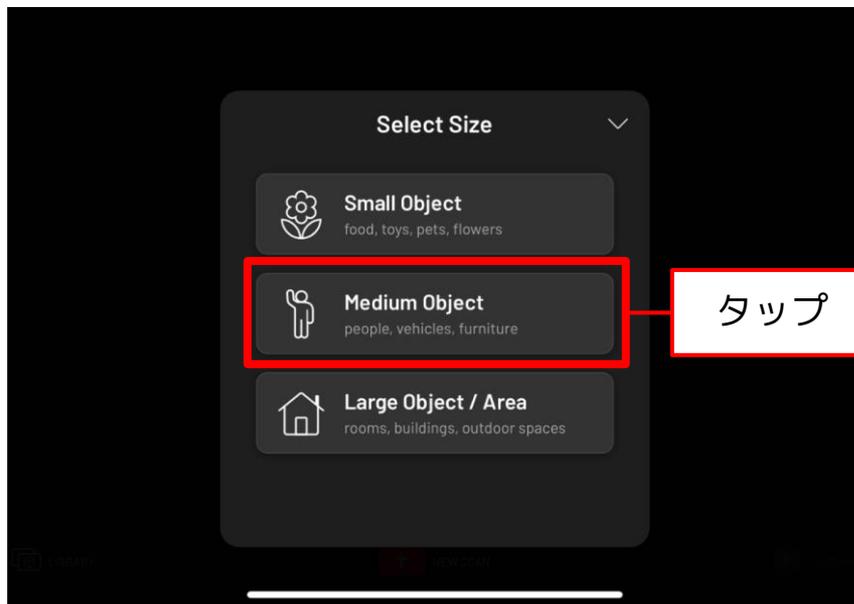
「+」をタップすると、
iPad Proの第2世代では、「Select Size」というメニューが表示されます。
第3世代以降では、「Select Scan Type」というメニューが表示されます。



2.モード選択

iPad Proが第2世代の場合は、「Medium Object」を選択します。

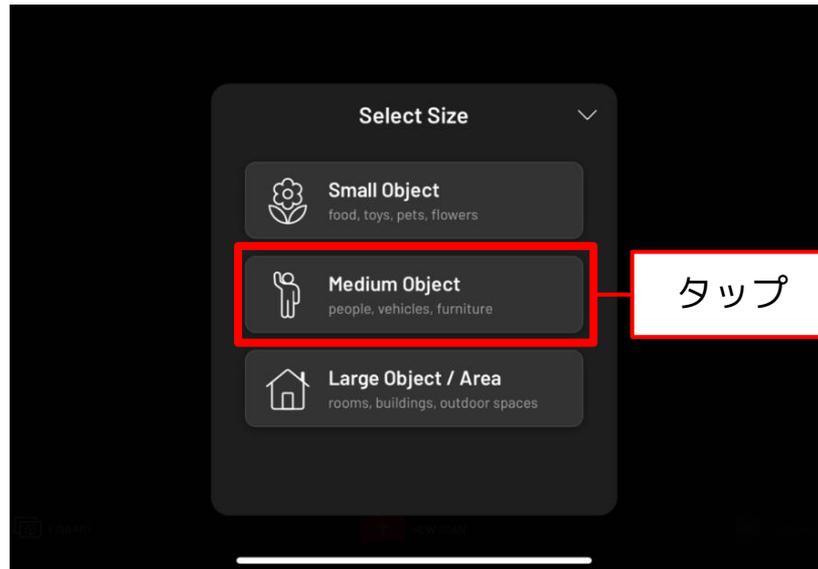
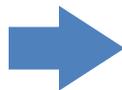
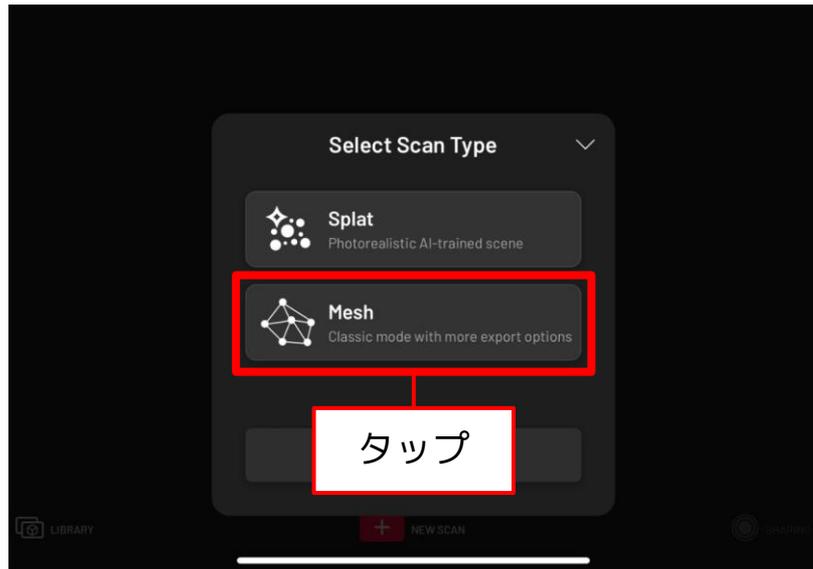
第2世代



2.モード選択

iPad Proが第3世代以降の場合は、「Select Scan Type」で「Mesh」を選択した後、「Select Size」で「Medium Object」を選択します。

第3世代以降



3. スキャン

スキャン画面に遷移したら、椅子の正面に立った状態で、右横の赤い丸をタップしてスキャンを開始します。



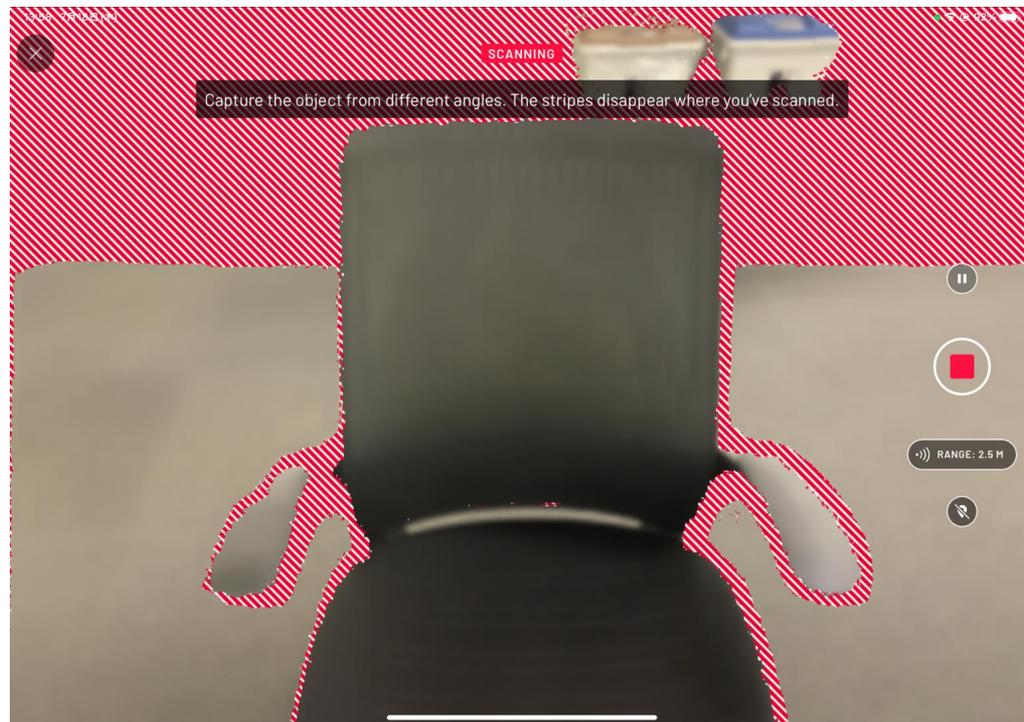
タップ

3-1. スキャン中

スキャンは椅子の**正面のみ**に対して行います。

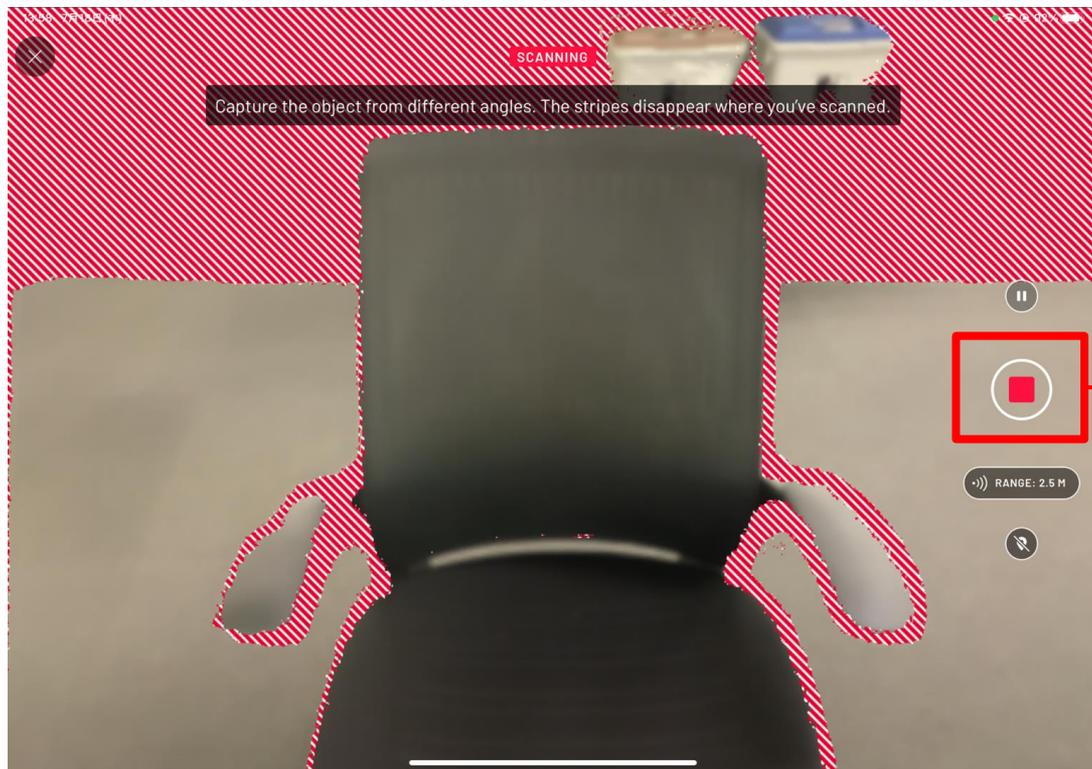
このとき、iPad Proをむやみに動かさず、少し上から椅子を捉え続けると上手くスキャンができます。

※結果が分かりにくくなるので、椅子を左右斜め方向から撮影しないように注意してください。



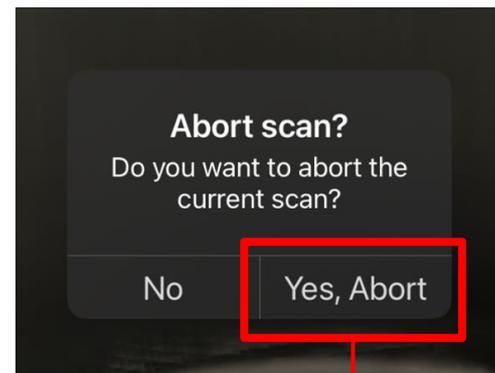
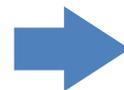
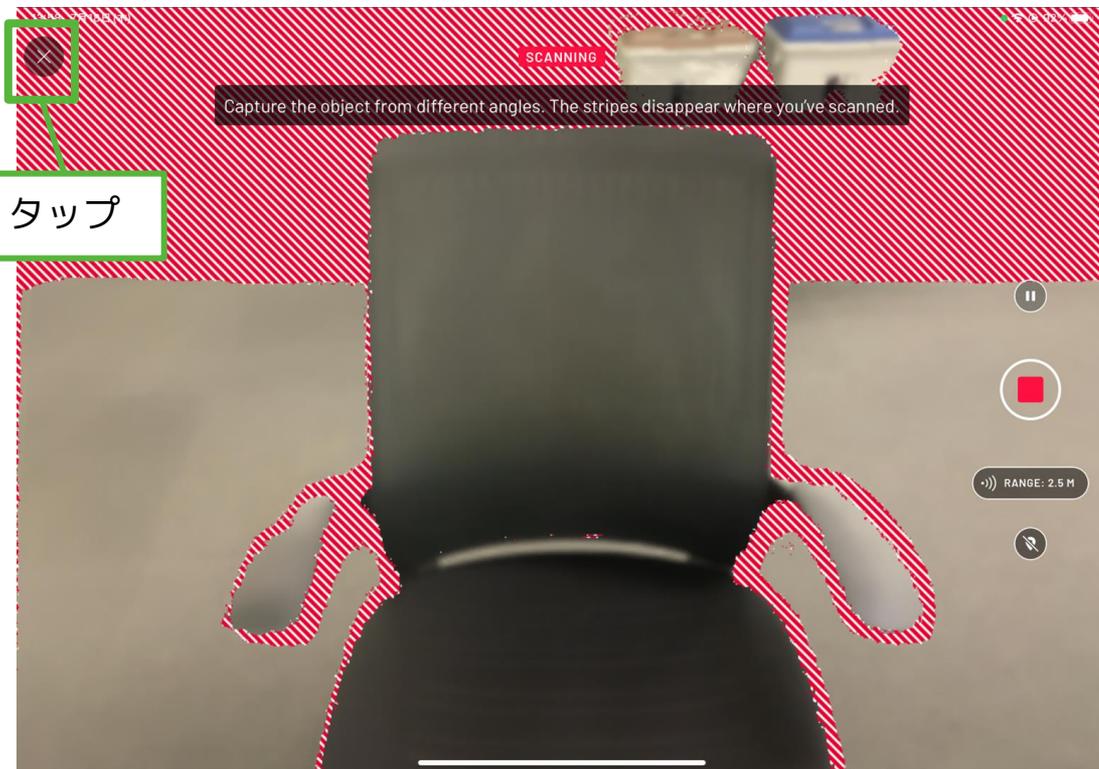
3-2. スキャン終了

スキャンを終了するときには、右横の四角くなったボタンをタップして終了し、結果表示画面に遷移します。



3-3. スキャンの中止

もしスキャンを中止したい場合は、左上の「x」ボタンをタップし、表示されたダイアログで「Yes, Abort」をタップします。するとアプリ起動直後の画面に遷移します。

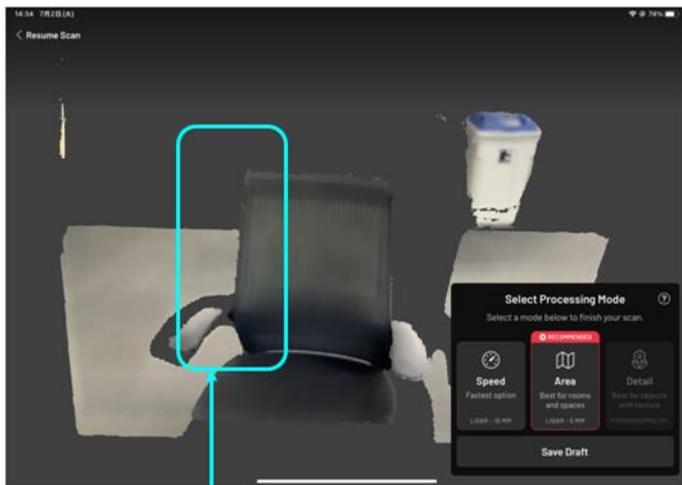


タップ

4.表示結果の確認

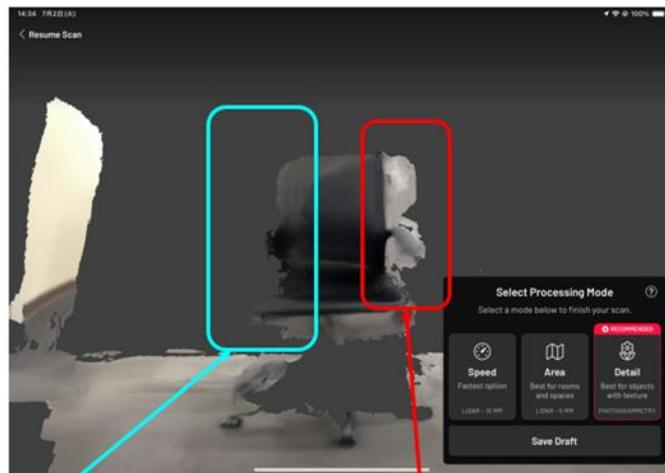
表示された結果を確認します。結果が左図のようであればOK、右図のようであればNGです。センサに異常があると、点群が右上にずれて表示されます。

センサチェックOK



椅子の背もたれの角が
欠けていない

センサチェックNG



椅子の背もたれの角が
欠けている

椅子の背もたれがない場所に
点群が表示されている

4-1. センサに異常がある場合の対応

センサに異常がある場合は、以下のような対応をとってください。

1. iPadをリカバリモードにして設定しなおす
→ <https://support.apple.com/ja-jp/108925> を参照して設定を行ってください。
2. 上記対応を行って改善しない場合は、ハードウェアに不具合が発生している可能性があるため、iPadの修理が必要です。

5.撮影データの削除

チェックが完了したら、結果表示画面左上の「< Resume Scan」をタップし、スキャン画面に戻ってください。

スキャン画面に遷移したら、3-3の手順に従ってスキャンを中止してください。



5.撮影データの削除

起動直後の画面で、左下の「LIBRARY」アイコンをタップし、何も表示されなければOKです。データが保存されている場合は、削除したい項目の右下の「…」をタップし、「Delete」をタップします。確認ダイアログが出るので、再度「Delete」をタップしてください。

削除完了

削除未完了

